

---

## 5074. 石油石炭税納税申告 事項呼出し

---

業務コード	業務名
OCB	石油石炭税納税申告事項呼出し

## 1. 業務概要

輸入者コードを入力した場合及び輸入申告等番号を入力した場合は、納税申告対象の情報を呼出す。

石油石炭税納税申告番号を入力した場合は、「石油石炭税納税申告事項登録（OCA）」業務によりシステムに登録した情報を呼び出す。

## 2. 入力者

通関業、輸出入者

## 3. 制限事項

(1) 一回の納税申告で紐づけ可能な輸入申告は300件以下、合計欄数は300欄以下であること。

## 4. 入力条件

### (1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②石油石炭税納税申告番号が入力されている場合、石油石炭税納税申告DBに登録されている事項登録を行った入力者と同一であること。
- ③入力者が輸出入者の場合は、利用者DBに登録されている輸出入者コードと入力された輸入者コードまたは法人番号が同一であること。

### (2) 入力項目チェック

#### (A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

#### (B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

### (3) 石油石炭税納税申告DBチェック

- ①入力された石油石炭税納税申告番号が石油石炭税納税申告DBに存在すること。
- ②入力された輸入者コードが石油石炭税納税申告DBに登録されている輸入者コードと同一であること。
- ③石油石炭税納税申告が行われていないこと。
- ④以下の登録が行われていないこと。

「石油石炭税納税申告手作業移行」

### (4) 石油石炭税特例納付DBチェック

- ①入力された輸入者コードが石油石炭税特例納付DBに存在すること。
- ②入力された特定月またはシステムにより算出された特定月\*1が石油石炭税特例納付DBに存在すること。
- ③入力された輸入申告等番号が石油石炭税特例納付DBに存在すること。
- ④入力された輸入申告等番号は石油石炭税納税申告が行われていないこと。
- ⑤入力された輸入申告等番号の輸入者コードが同一であること。
- ⑥入力者が通関業の場合、入力された輸入者コードに紐づく輸入申告情報に、入力者の利用者コードが1件以上存在すること。
- ⑦以下の登録が行われていないこと。

「石油石炭税納税申告手作業移行」

「特例申告手作業移行」

- ⑧OCA業務により登録された輸入申告等番号が入力された場合は、石油石炭税納税申告番号を入力していること。

(\*1) 業務実施日の属する月の前月の年月。ただし、納税申告期限の末日が休日であり、その休日の翌日に本業務を実施する場合、業務実施日の属する月の前々月の年月（前々月の情報が存在しない場

合は前月の年月)

## 5. 処理内容

### (1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

### (2) 石油石炭税納税申告呼出し結果情報編集出力処理

石油石炭税特例納付DB及び石油石炭税納税申告DBより石油石炭税納税申告呼出し結果情報の編集及び出力を行う。なお、輸入者コードの先頭13桁または先頭8桁で石油石炭税特例納付DBを参照する。納税申告期限の末日が休日であり、その休日の翌日に本業務を行う場合、前々月一か月間の全国分の申告情報を呼び出す。ただし、前々月分の未申告情報が存在しない場合は、前月一か月間の全国分の申告情報を呼び出す。出力項目については「出力項目表」を参照。

### (3) 石油石炭税納税申告事項登録情報編集出力処理

石油石炭税特例納付DB及び石油石炭税納税申告DBより石油石炭税納税申告事項登録情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

## 6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
石油石炭税納税申告呼出し結果情報	(1) 輸入者コードを入力した場合 (2) 輸入者コード及び石油石炭税納税申告番号を入力した場合	入力者
石油石炭税納税申告事項登録情報	(1) 石油石炭税納税申告番号を入力した場合 (2) 輸入申告等番号を入力した場合* <sup>2</sup>	入力者

(\* 2) 輸入申告等番号と石油石炭税納税申告番号または輸入者コードを入力した場合は、輸入申告等番号が優先される。

## 7. 特記事項

### (1) 入力内容の組み合わせによる出力情報の出力パターンについて

石油石炭税納税申告番号欄、輸入者コード欄及び輸入申告等番号欄の入力内容の組み合わせによる出力情報の出力パターンは以下のとおり。

○：入力あり、×：入力なし

輸入者コード	輸入申告等番号	石油石炭税納税申告番号	出力元DB		情報名
			特例納付	納税申告	
○	×	×	○		石油石炭税納税申告呼出し結果情報
○	×	○	○	○	石油石炭税納税申告呼出し結果情報
○	○	×	○ <sup>*3</sup>		石油石炭税納税申告事項登録情報
○	○	○	○ <sup>*3</sup>	○ <sup>*4</sup>	石油石炭税納税申告事項登録情報
×	○	×	○ <sup>*3</sup>		石油石炭税納税申告事項登録情報
×	○	○	○ <sup>*3</sup>	○ <sup>*4</sup>	石油石炭税納税申告事項登録情報
×	×	○		○ <sup>*4</sup>	石油石炭税納税申告事項登録情報
×	×	×			エラー

(\*3) 石油石炭税納税申告番号に紐づいていない輸入申告等番号については、対象外識別欄がスペースのものを呼び出し対象とし、繰返し部の情報を出力する。

(\*4) 石油石炭税納税申告番号に紐づいている輸入申告等番号のうち、対象外識別欄に「X」が入力されたものを出力対象外とし、対象外識別欄がスペースのものを呼び出し対象とする。

### (2) 輸入者コードまたは輸入申告等番号による呼び出し結果について

#### (A) 輸入者コード

入力された輸入者コードに紐づく情報が石油石炭税特例納付DBに301件以上登録されている場合は、石油石炭税納税申告呼出し結果情報に300件目までしか出力できないため、「石油石炭税納税申告(0CC)」業務にて納税申告実施後に、再度実施する必要がある。

#### (B) 輸入申告等番号

入力された輸入申告等番号に紐づく欄数の合計が300欄を超える場合は、300欄に収まるように石油石炭税納税申告事項登録情報を呼び出す必要がある。